

令和4年度 建設産業の経営に関するアンケート調査結果 [概要版]

令和5年4月
北海道建設部建設管理課

【調査の概要】

●調査目的等

建設産業の施策ニーズを把握し、今後の施策展開に資することを目的に本調査を実施しました。

●調査方法、内容

道内の建設業許可業者（抽出）にアンケート調査票を配布し、各業者の経営状況や担い手の確保・育成の取組などについて、回答を得ました。

●調査件数

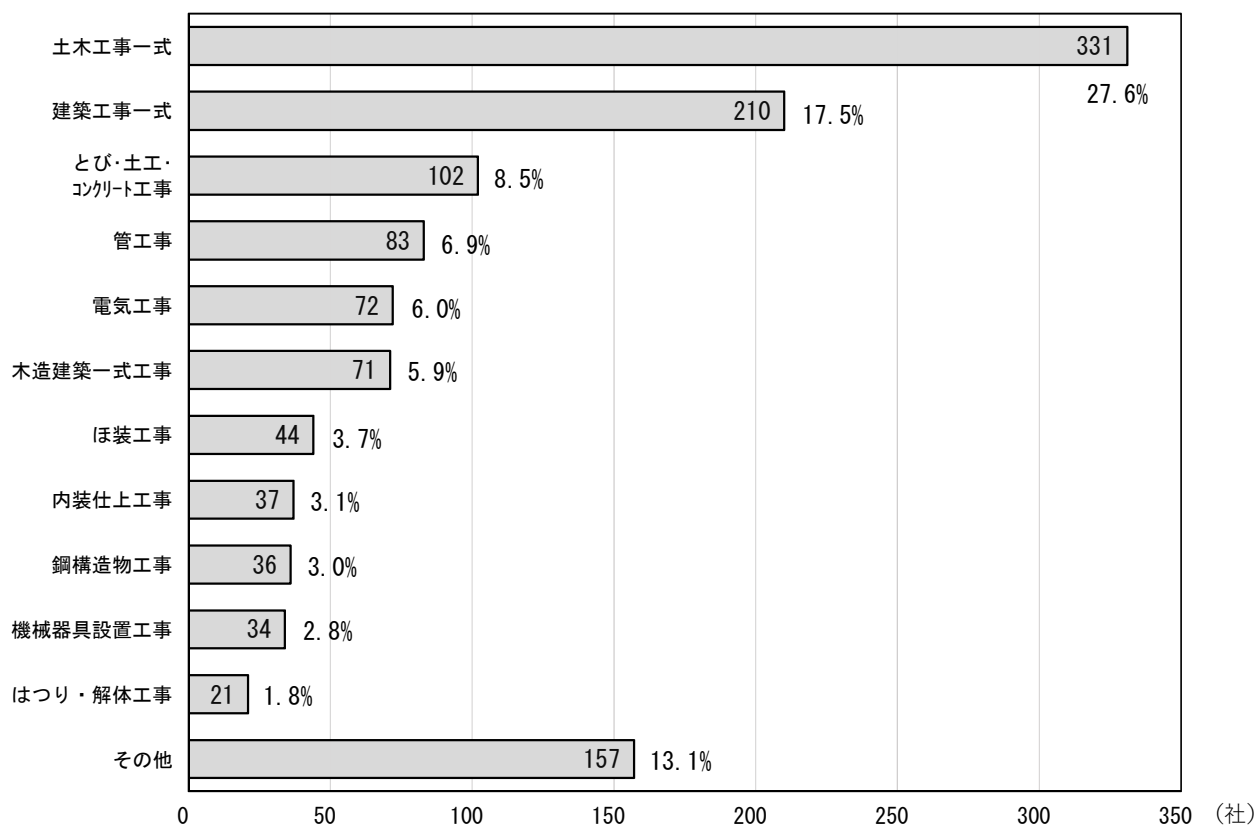
依頼件数：4,027件、回答件数：1,383件（回答率：34.3%）

アンケートの項目によっては、記入のない回答がありましたので、各グラフには有効の回答数を「有効回答数」として記載しました。

【回答業者の概要】

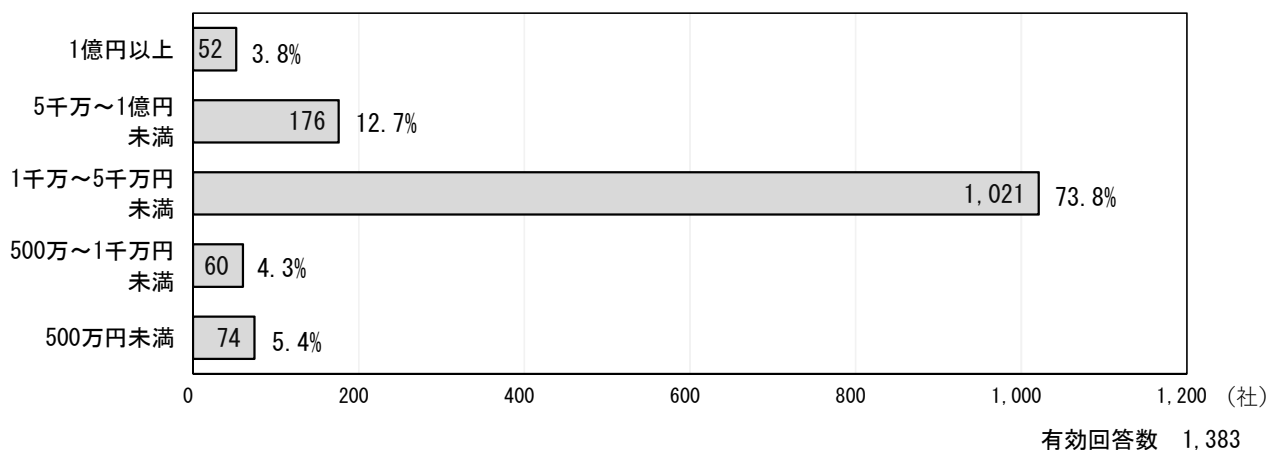
■主な業種

グラフ1 回答業者の主な業種【20社以上回答があった業種】

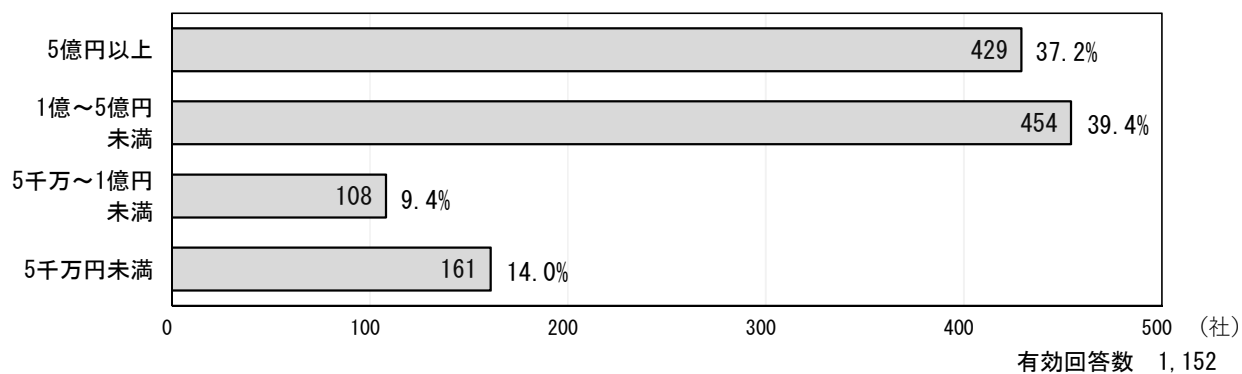


有効回答数 1,198

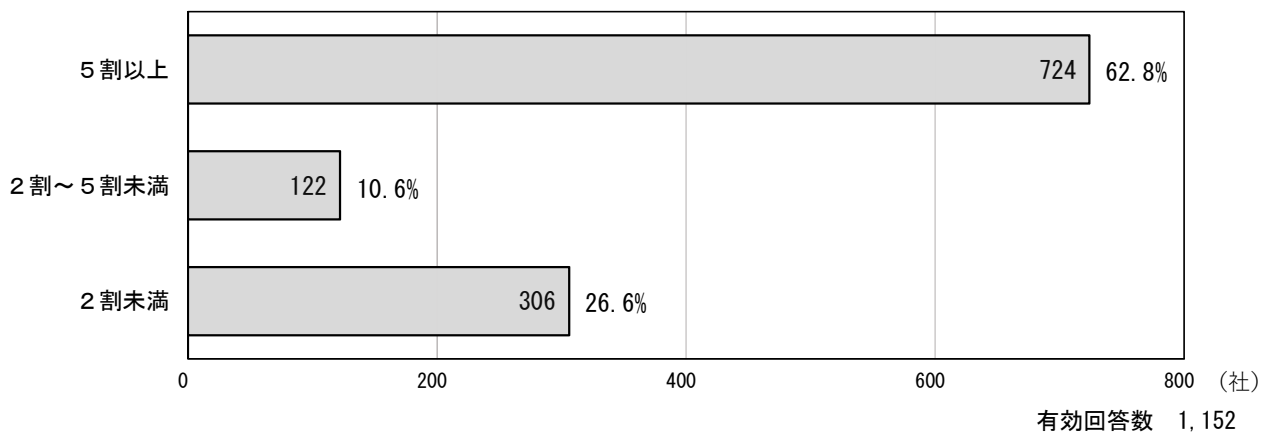
グラフ2 回答業者の資本金



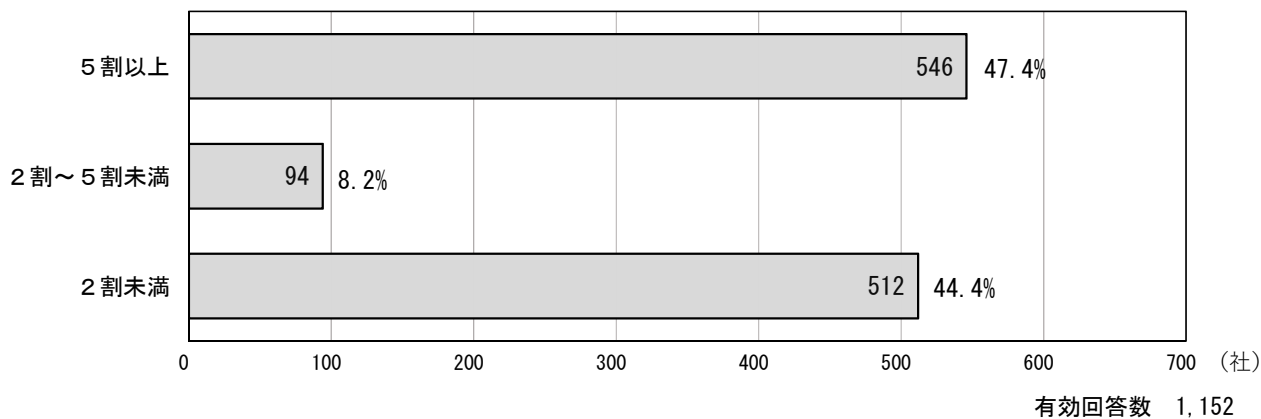
グラフ3 回答業者の完成工事高



グラフ4 回答業者の完成工事高に占める元請工事の割合



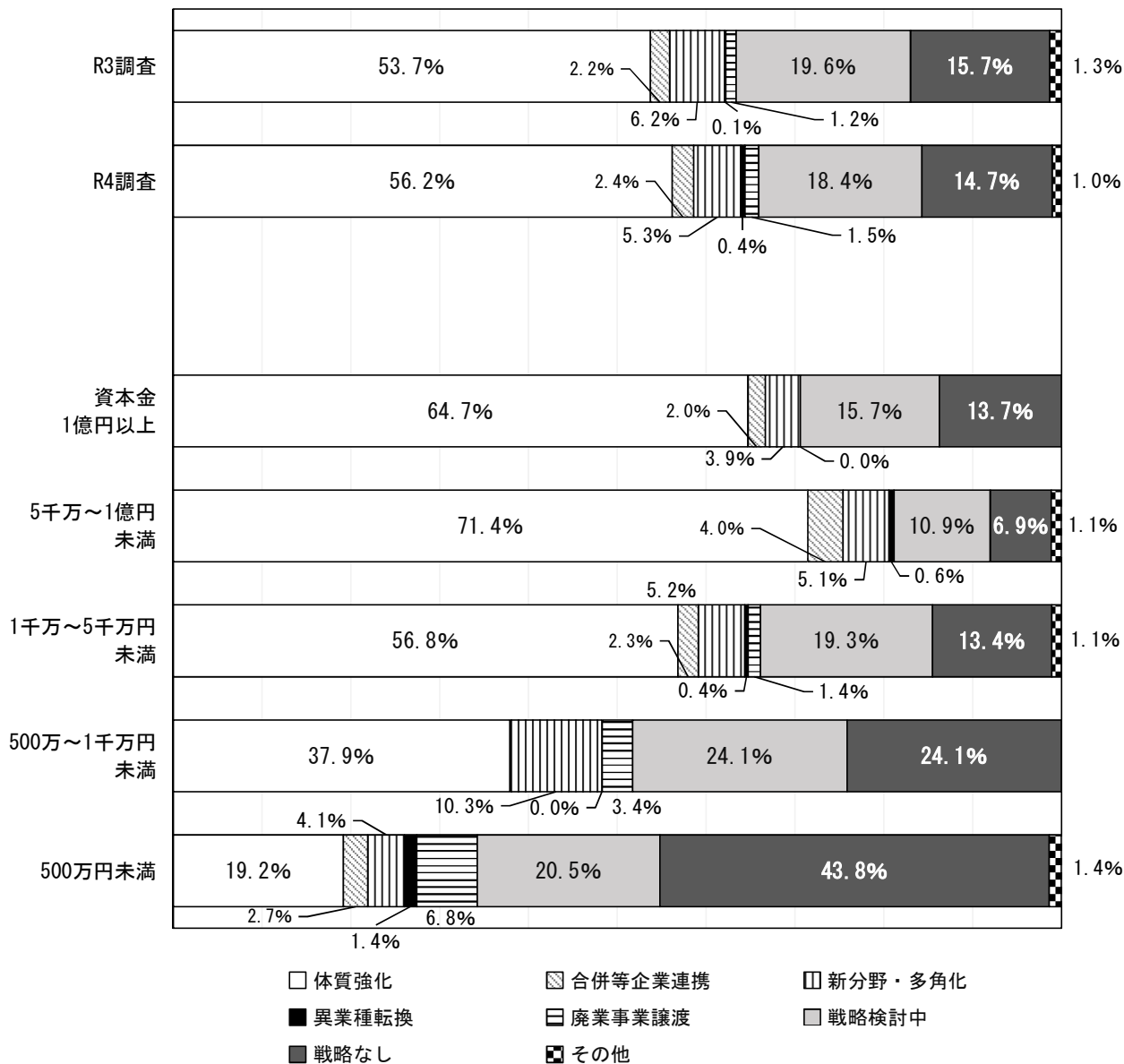
グラフ5 回答業者の完成工事高(元請工事)に占める公共工事の割合



【アンケート調査結果】
 <経営戦略について>

●最も重視している経営戦略

グラフ13 最も重視している経営戦略

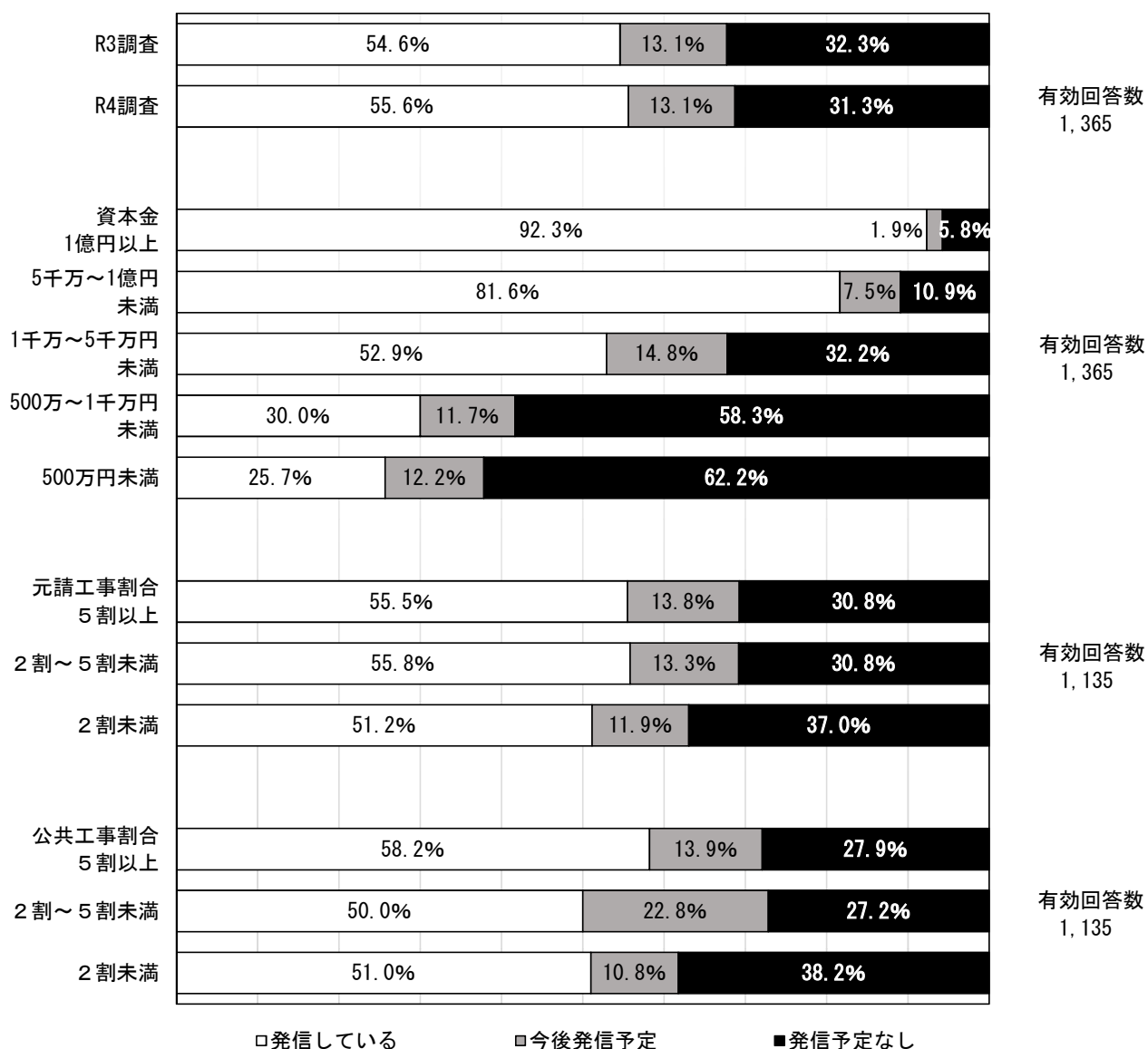


有効回答数 1,355

最も重視している経営戦略は、前回調査と同様「建設業本体での企業体質の強化」で、56.2%と半数を超えており、本業重視の傾向が継続している。
 資本金階層別に見ると、500万円以上の業者では「建設業本体での企業体質の強化」を重視している割合が最も高くなっているが、資本金が500万円未満の業者では「特に明確な経営戦略は持っていない」割合が高くなっている。

<情報発信について>

グラフ19 インターネット（HP等）での自社情報の発信

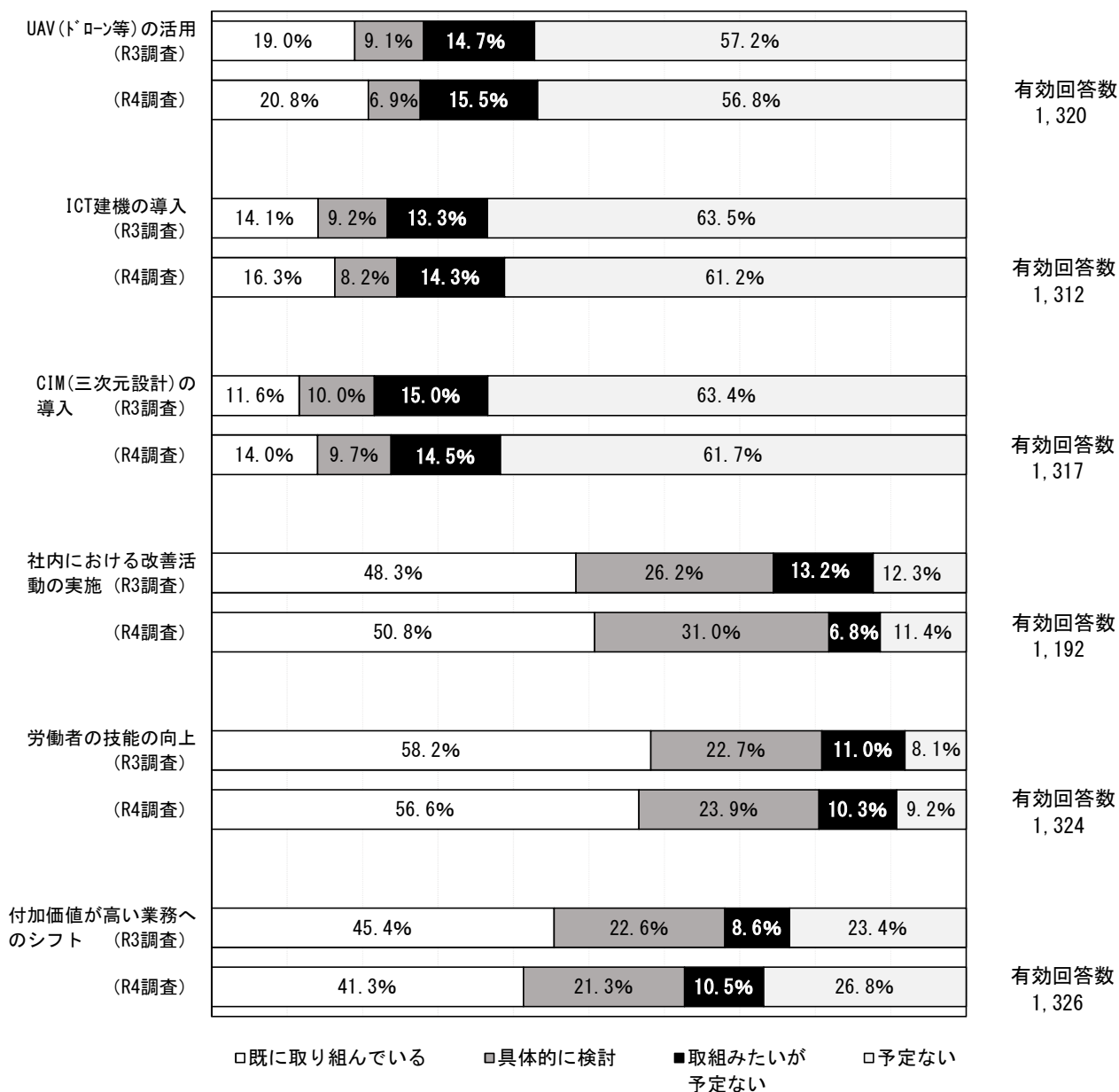


インターネット（HP等）を活用した自社情報の発信については、「既に発信している」が55.6%で、前回調査より1.0ポイント増加している。
 資本金階層別に見ると、資本金1億円以上の業者の92.3%が取り組むなど、資本金が多い業者ほど取り組んでいる割合が高くなっている。
 また、元請工事割合別および公共工事割合別では、すべての階層で「既に発信している」が5割を超えている。

<生産性の向上について>

●取組状況

グラフ25 生産性向上への取組状況

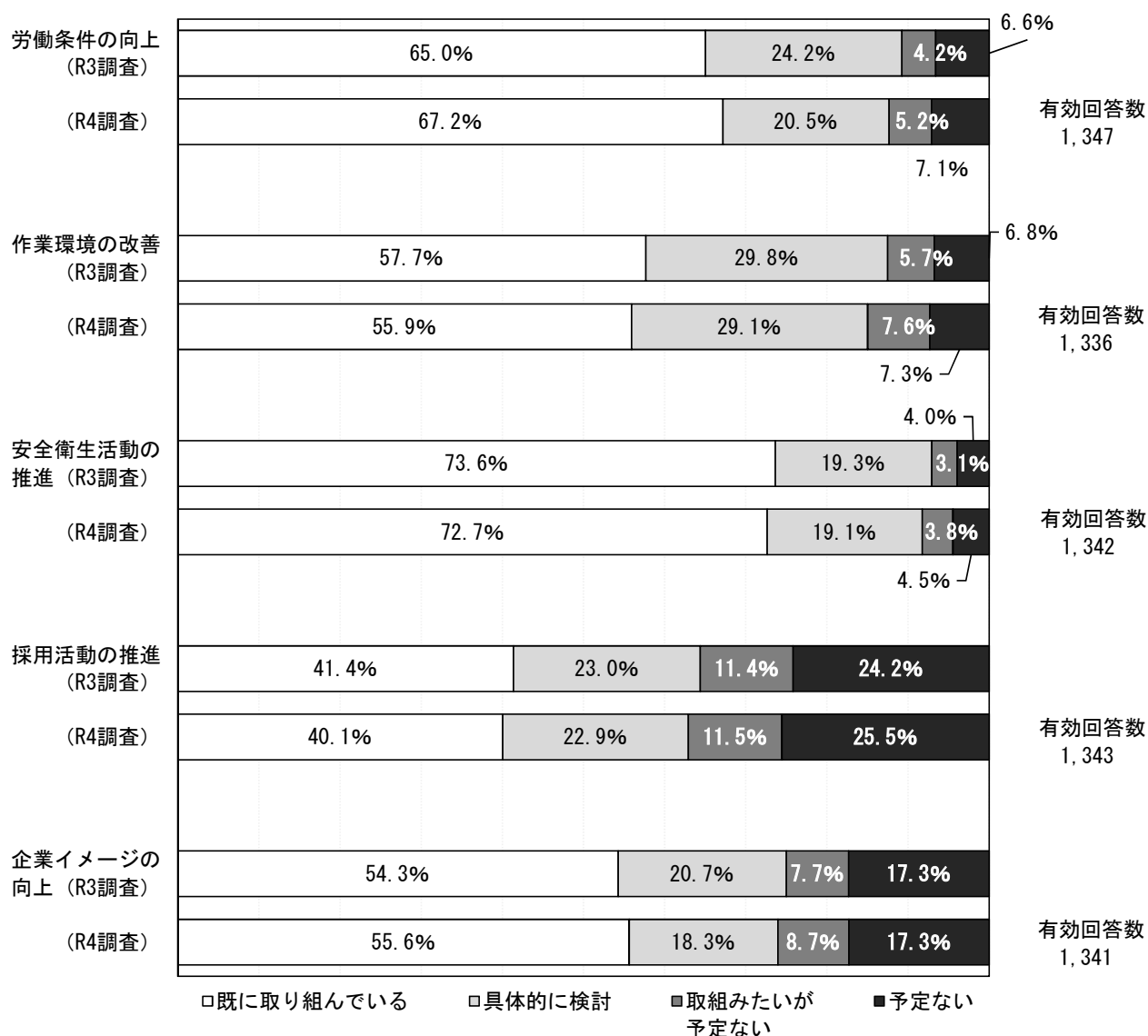


「UAV（ドローン等）の活用」、「ICT建機の導入」、「CIM（三次元設計）の導入」については、7割以上の業者が「取り組む予定はない」又は「取組みたいがすぐ取り組む予定はない」と回答しているが、「社内における改善活動（品質改善、原価低減など）の実施」や「労働者の技能の向上」「付加価値が高い業務へのシフト」については、6割以上の業者が「既に取り組んでいる」又は「取組を具体的に検討している」と回答している。

<担い手の確保・育成について>

●取組状況

グラフ34 担い手の確保・育成への取組状況

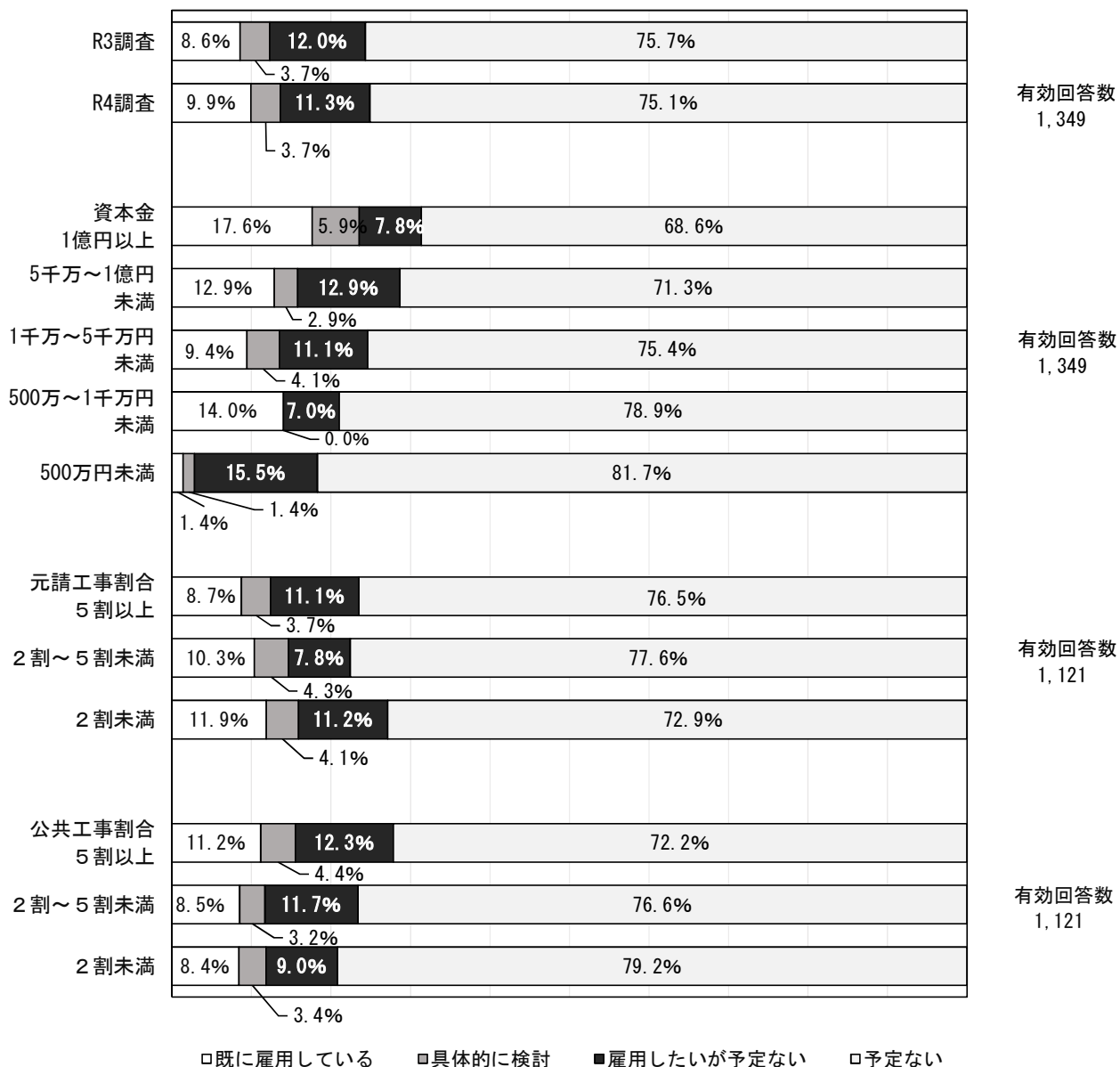


就業環境の改善（労働条件の向上、作業環境の改善、安全衛生活動の推進）について、半数以上の業者が既に取り組んでおり、具体的に検討している業者を含めると8割を超えている。
 「採用活動の推進」について、「既に取り組んでいる」業者の割合が前回調査より1.3ポイント減少しており、「取り組む予定はない」業者は前回調査より1.3ポイント増加している。

<外国人材の雇用について>

●雇用状況

グラフ41 外国人材の雇用



有効回答数
1,349

有効回答数
1,349

有効回答数
1,121

有効回答数
1,121

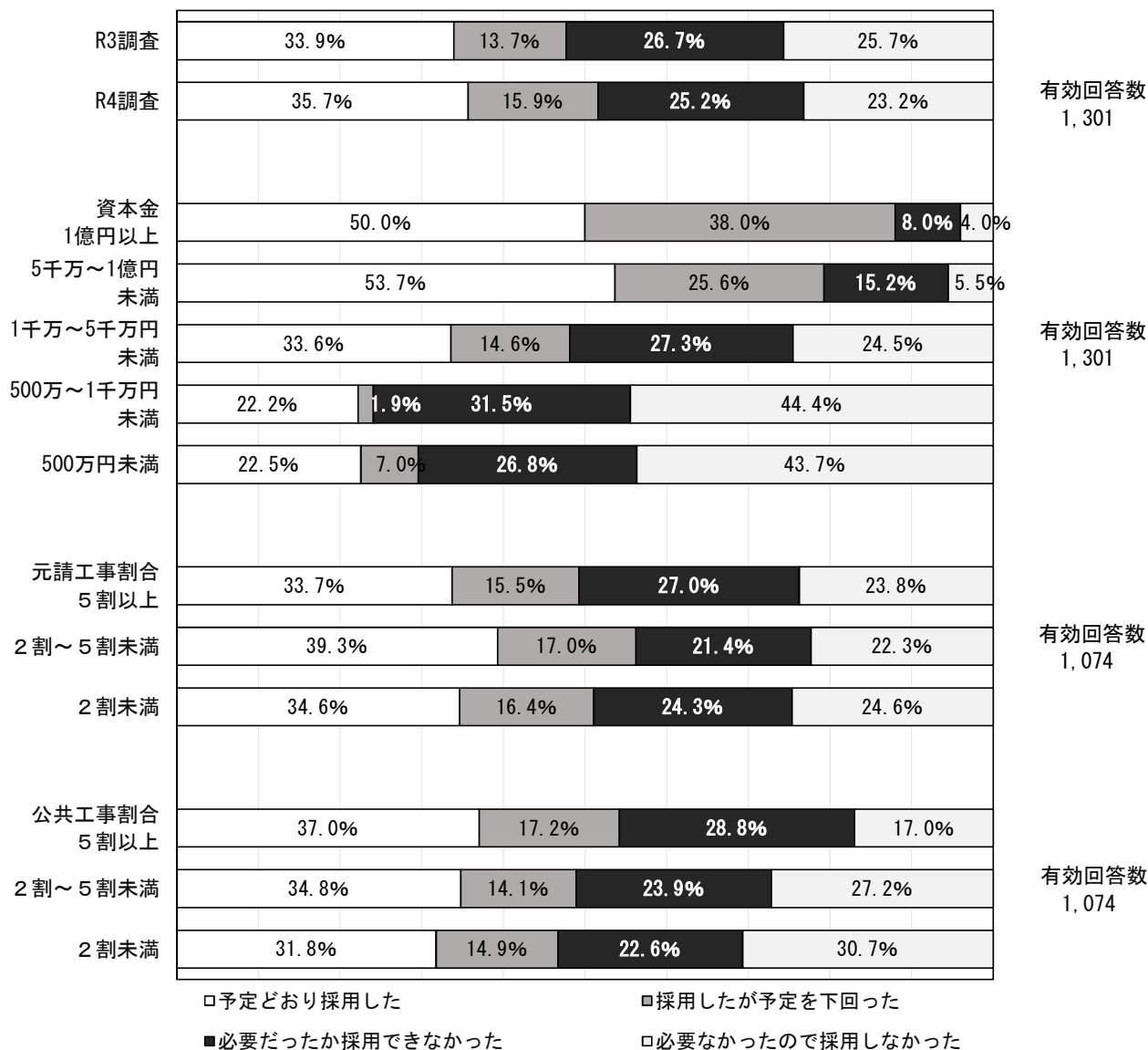
外国人材を「既に雇用している」業者は9.9%で前回調査より1.3ポイント増加している一方、「雇用する予定はない」と回答した業者は75.1%と前回調査より0.6ポイント減少している。

資本金の多い業者ほど「既に雇用している」と回答した業者の割合が高い傾向にあり、資本金の少ない業者ほど「雇用する予定はない」と回答した業者の割合が高くなっている。

<雇用状況について>

●正社員の採用状況（採用期間：令和3年7月～令和4年6月）

グラフ44 正社員の採用状況



正社員の採用について、「予定どおり採用した」業者は464社で、その割合は35.7%となっており、前回調査より1.8ポイント増加している。

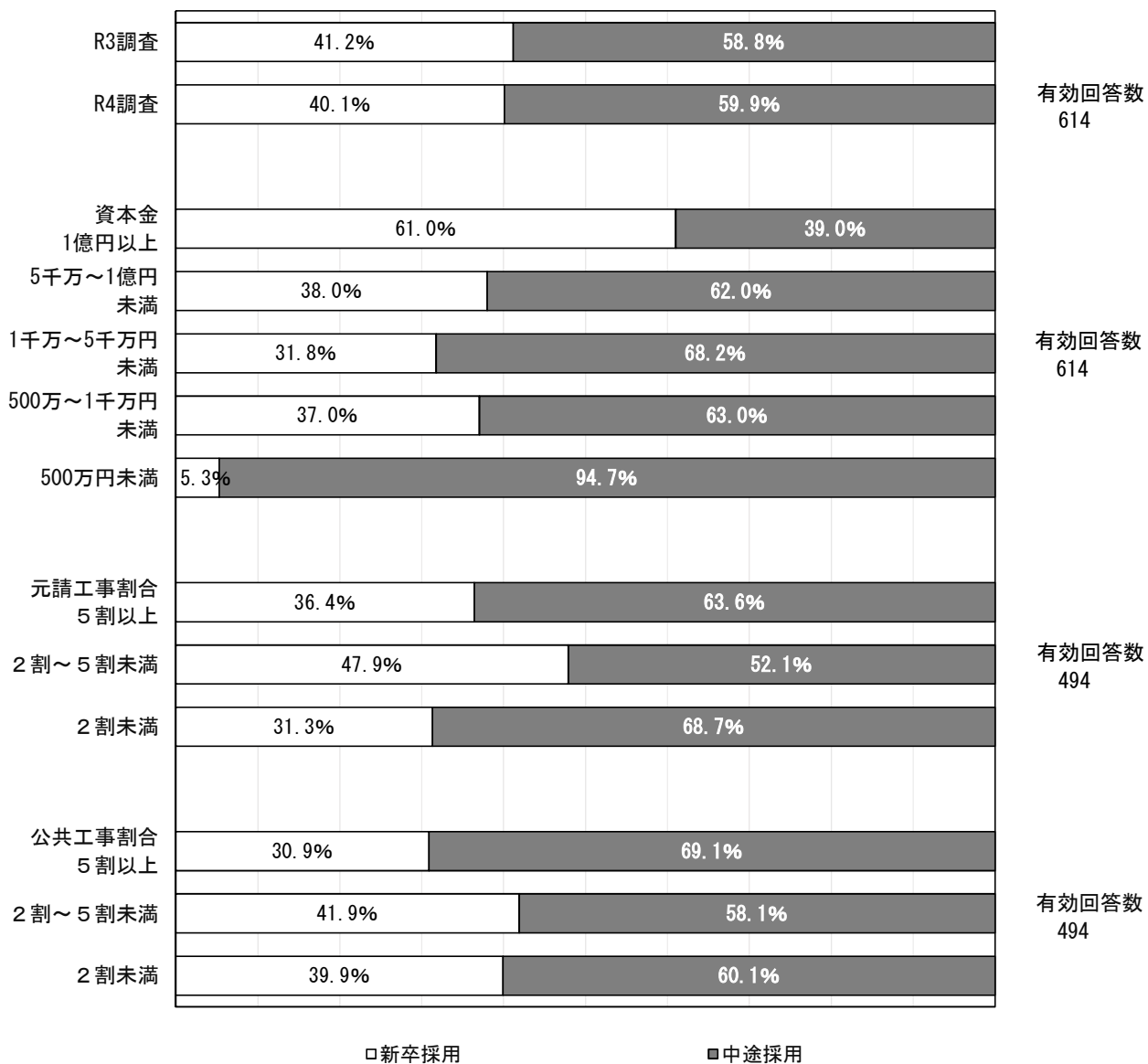
「採用したが予定を下回った」業者の15.9%と「必要だったが採用できなかった」業者の25.2%を合わせると、予定どおり採用できなかった業者は41.1%で前回調査の40.4%に比べ0.7ポイント増加している。

資本金階層別に見ると、資本金の多い業者ほど「予定どおり採用した」割合が高い傾向にあり、資本金の少ない業者ほど「必要なかったのに採用しなかった」割合が高い傾向にある。

その他の理由として、「雇用期間の問題」「対応・教育できる人材がない」「通年雇用が困難」となっている。

●新卒採用・中途採用の状況

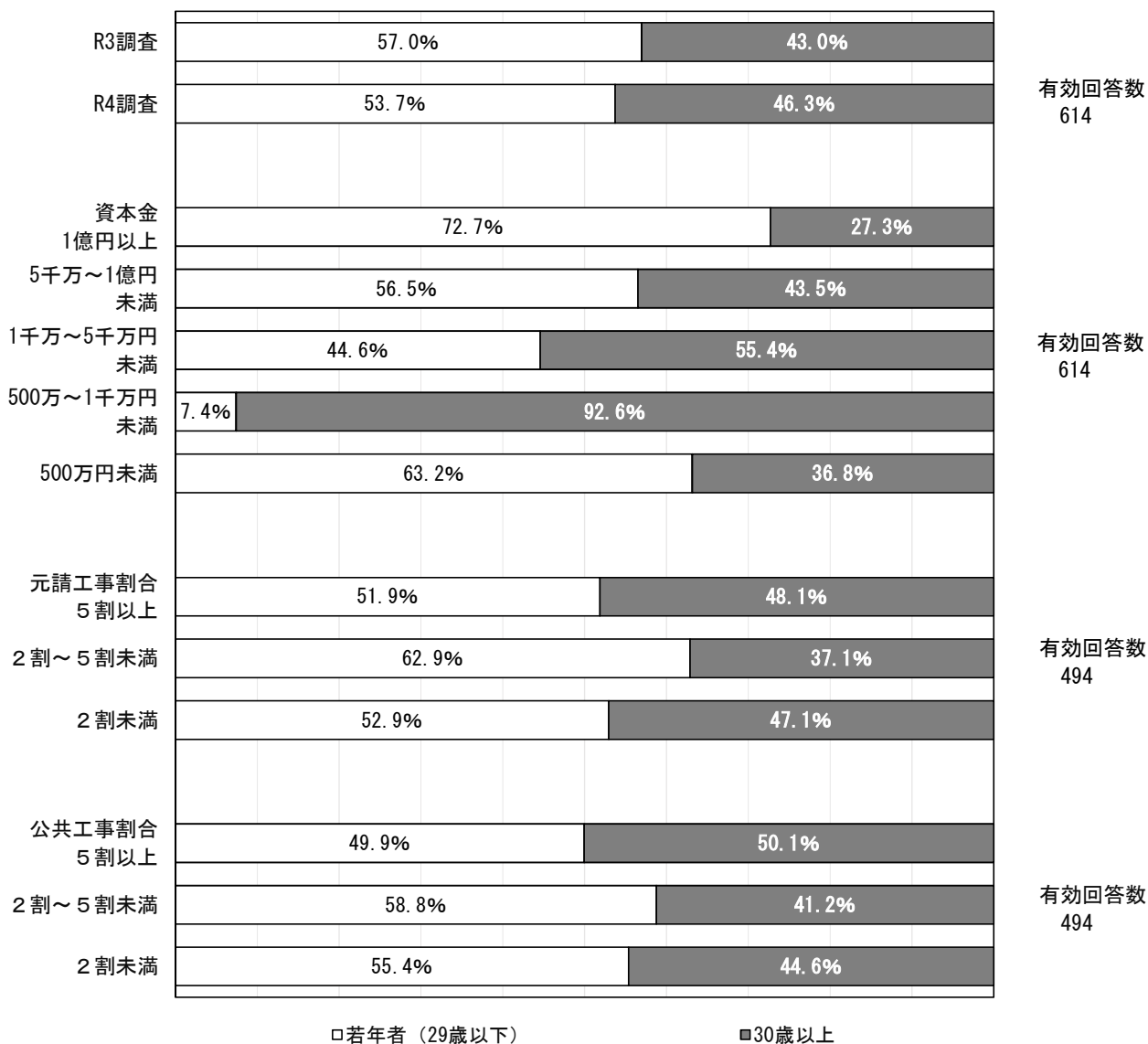
グラフ45 新卒採用・中途採用の状況



採用した正社員数2,408人のうち新卒採用は966人でその割合は40.1%、中途採用は1,442人でその割合は59.9%となっている。
 新卒採用と中途採用の割合は前回調査に比べほぼ同じだが、採用者数は108人減少している。

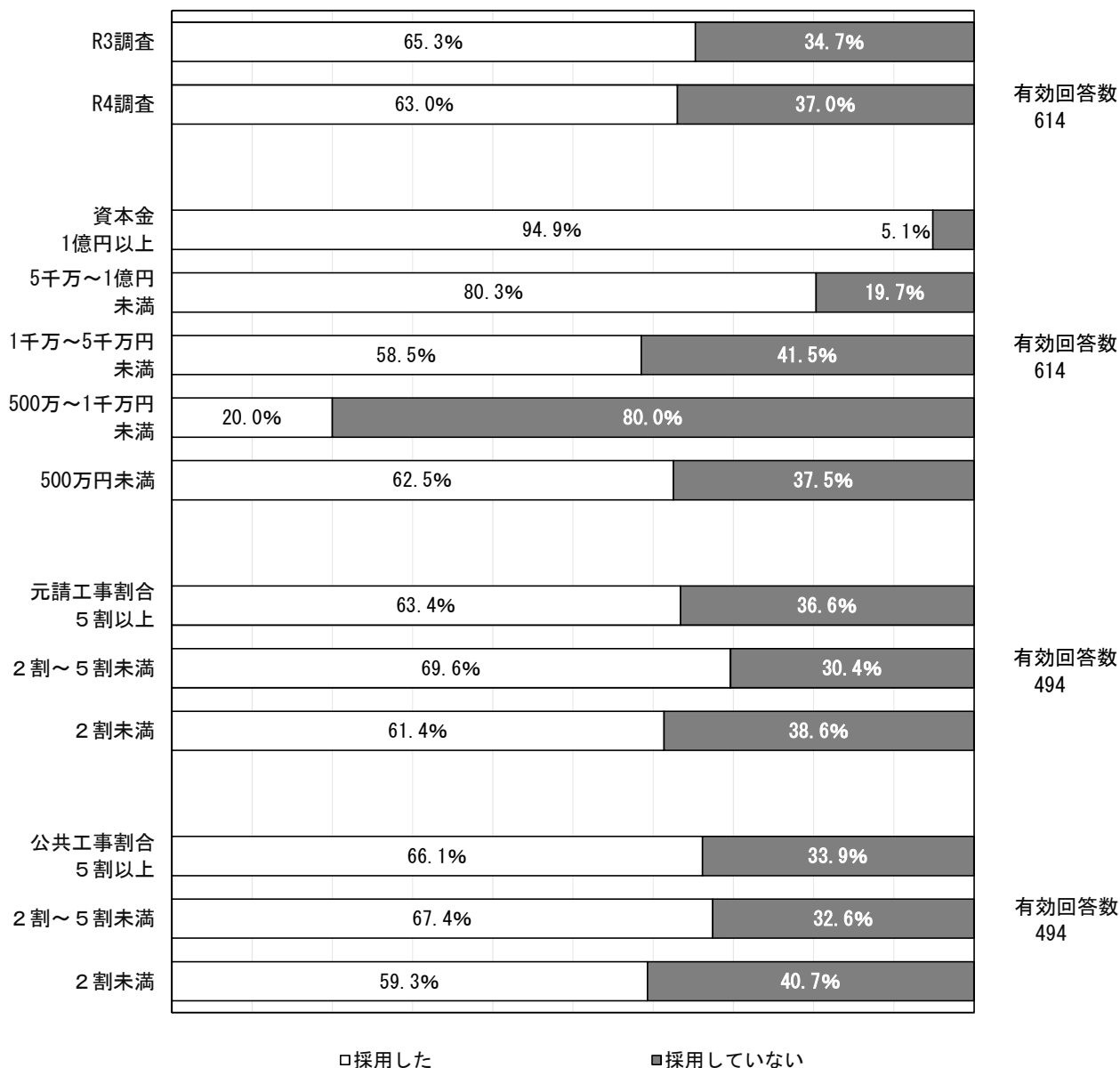
●若年者（29歳以下）の採用状況

グラフ46 採用者のうち若年者（29歳以下）の割合



採用した正社員数2,408人のうち、若年者（29歳以下）は1,294人で、その割合は53.7%となっており、前回調査より3.3ポイント減少している。
 資本金500万円以上1千万円未満の業者では、若年者（29歳以下）の採用者数の割合が低くなっている。

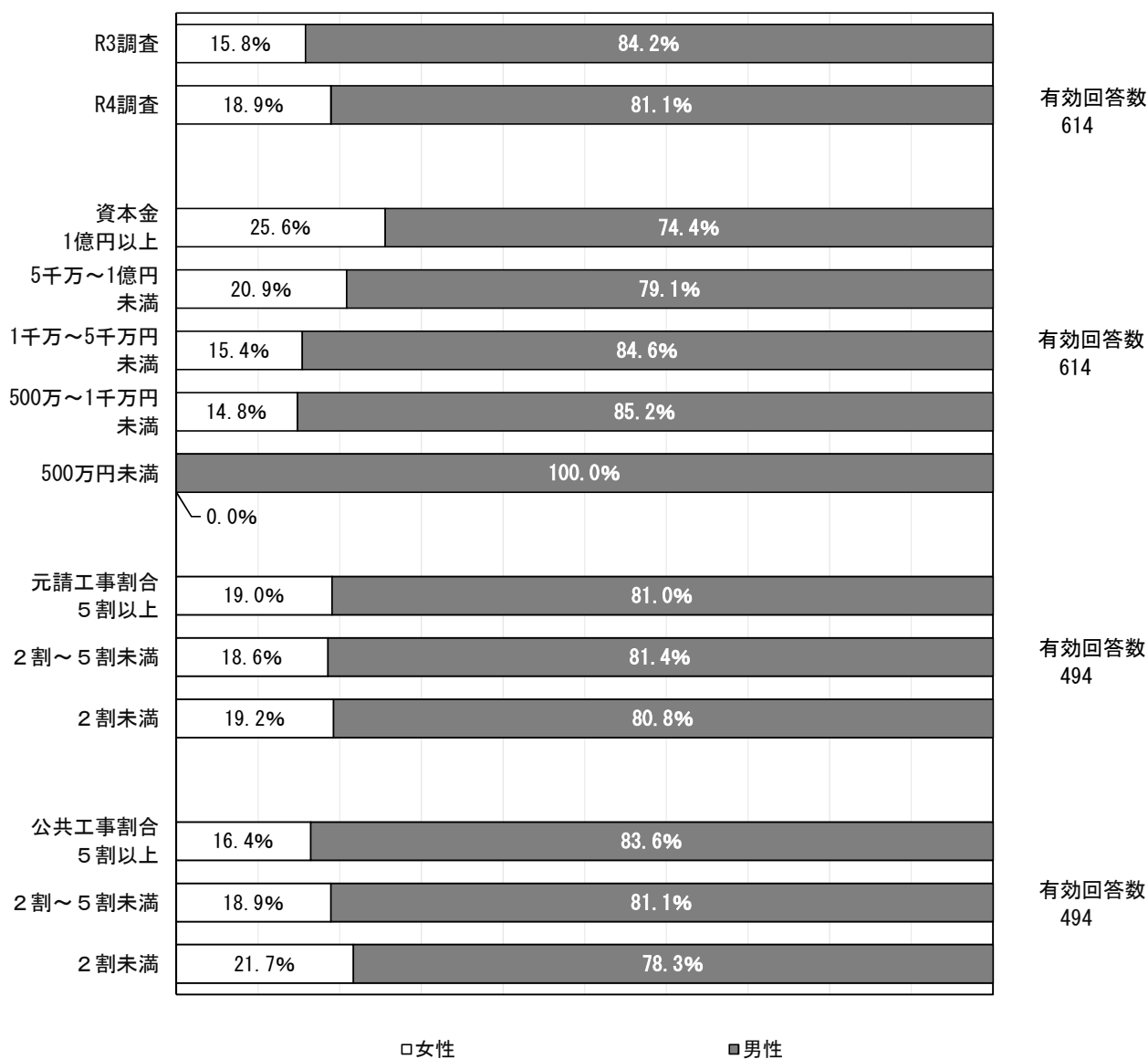
グラフ47 若年者（29歳以下）を採用した業者の割合



正社員を採用した業者614社のうち、若年者（29歳以下）を採用した業者は387社で、その割合は63.0%となっており、前回調査より2.3ポイント減少している。
 資本金500万円以上1千万円未満の業者では、若年者（29歳以下）の採用した業者の割合が低くなっている。

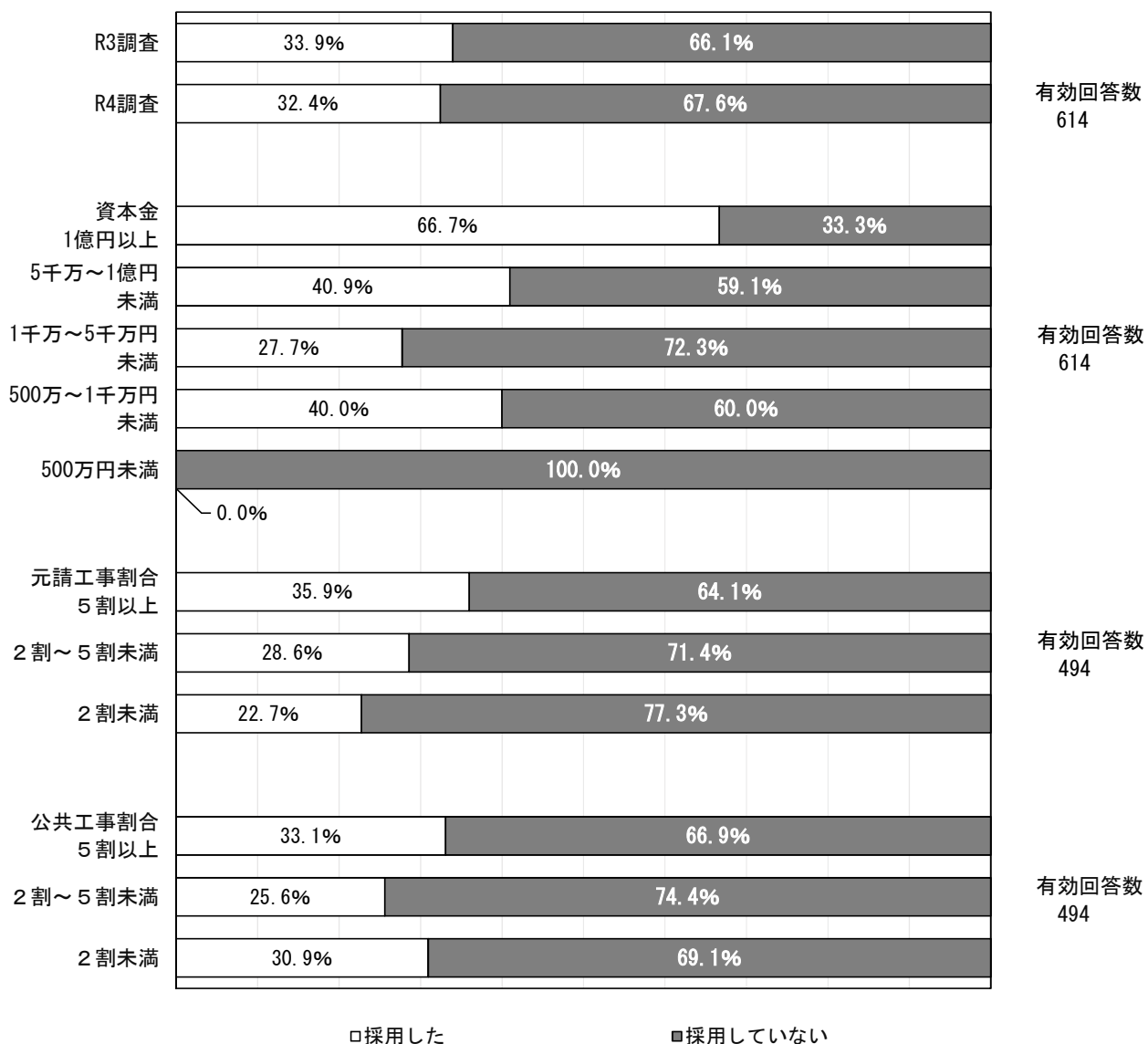
●女性の採用状況

グラフ50 採用者のうち女性の割合



採用した正社員数2,408人のうち、女性は456人で、その割合は18.9%となっており、前回調査より3.1ポイント増加している。
 資本金階層別に見ると、1億円以上の業者が25.6%で最も高くとなっているが、資本金500万円未満の業者では女性の割合は0%となっている。

グラフ51 女性を採用した業者の割合



正社員を採用した業者614社のうち、女性を採用した業者は199社で、その割合は32.4%となっており、前回調査より1.5ポイント減少している。
 資本金階層別に見ると、資本金1億円以上の業者では女性を採用した業者の割合が6割を超えている。